



元旦の御社頭

新春を言祝ぎ

彌彦神社 宮司

渡部 吉信



新年明けまして
おめでとうございます。

令和二年 皇紀二千六百八十
年の年頭を言祝ぎ、皆様方に新

春の賀詞を申し上げます。
謹しみて皇室の弥栄、国の安泰と併せて氏子崇敬者の皆様が平安でありますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は、今上陛下即位の大礼にて日本国中が奉祝の萬歳に沸き返りました。五月一日の御踐祚から即位礼、大嘗祭と恙なく終えられました事に誠に尊く有難く存じ上げ奉ります。神武天皇より百二十六代、万世一系の皇統、この現代にありましても神代からの伝統が脈々と波打っていることが感じられました。

この度の令和の大礼には、平成の時のような一部の者の騷擾もなく、国民こそって素直に祝意を表していたと思います。先の敗戦で断ち切られたかに見える日本の国柄への回帰が今現れ出したかとも見えます。この時こそこれから行われる皇位継承の議論に対し真摯に目を向けるべきです。

さて、彌彦神社では昨年、即位の大礼の奉祝記念事業と致しまして、旧社務所を取り壊し、新たに参拝休憩所の新設を行ってまいりましたが、見事に竣工し、十一月一日より参拝の皆様にご利用いただいております。樹木の伐採もなく、四本の大樫も残すことが出来ました。大空を仰げる大変明るい空間となりました。

また、今上天皇の初めてのお正月を迎えるに際し、彌彦神社独自の正月飾り「三光之飾」を復興致しました。三光とは日、月、星です。三台の四方台にそれぞれを鏡餅でかたどり、松竹梅、木の実などで飾り立てたお目出度いもので、大晦日から正月八日まで大床に飾られていました。明治の初めまで行われていましたが、その後断絶したものです。大御代を言祝ぎたくこの度復興し、大前に奉献の後祈禱殿にお飾り致しております。

彬子女王殿下御参拜

彬子（あきこ）女王殿下には、特別の思し召しを以て、昨秋開催の第五十九回新潟県菊花展覧会に際し「寛仁親王賞」を御下賜になられた。
十一月二十日に御参拝になられ、さらには同日の菊花祭に台臨を賜り、親しく「親王賞」を御授与になられた。



彬子女王殿下には、今回八回目の「寛仁親王賞」を御下賜になられた。
十一月二十日午前九時に社務所に御到着。渡部宮司の案内により神前に御進みになり、御参拝になられた。

その後、渡部宮司、新潟県菊花連盟の山崎副会長等の案内にて菊花を丁寧御鑑賞になられた。

献花祭斎行後に授賞式に御出ましになられ、大菊の部「七幹立厚物」で親王賞を受賞した長岡市の山添謙蔵氏に、親しく賞状と記念品を御授与になられた。また「弥彦の丘美術館」で開催されていた「永吉秀司 日本画展」を、五十嵐館長、日本画家の永吉秀司氏の案内により御鑑賞された。



祭事暦

(一月～三月)

一月中

- 元旦 歳旦祭(午前〇時)
- 夜宴神事(午後六時)
- 二日 月次祭(午前十時)
- 夜宴神事(午後六時)
- 三日 夜宴神事(午後六時)
- 七日 弓始神事(午前九時)
- 十日 交通安全祈願祭(午前九時)
- 十一日 日神祭(午前八時)
- 十五日 供粥祭(夕刻)
- 十六日 粥占炭置神事(午前五時)

二月中

- 一日 神幸神事(午前十時)
- 二日 例祭(大御膳献進)(午前十時)
- 神幸神事(午前十一時)
- 三日 神幸神事(午前十時)
- 四日 神幸神事(午前十時)
- 十日 交通安全祈願祭(午前九時)
- 十一日 建国記念祭(午前十時)
- 二十三日 天長祭(午前十時)

三月中

- 二日 月次祭(午前十時)
- 十日 交通安全祈願祭(午前九時)
- 十一日 末社 火宮神社例祭(午前十一時)
- 十五日 大々神楽始奉告祭(午前十一時)
- 二十一日 春季皇霊祭遥拜式(午前十時)
- 二十七日 御浜行
- 二十八日 祈年祭・初穂講春季大祭(午前十一時)

令和二年 庚子 新春の御社頭

歳旦、午前零時の報鼓を合図に幣殿の御扉が開かれて新しい年、令和二年が始まる。この刻を待って、拝殿の内外を埋めた参拝者の打つ拍手の音が境内にこだまする。
この前後、行く年の御恵みに感謝し、来る年に願いを込めて参拝する二年詣りの人々で長い参道は埋め尽くされる。

遣り、が奉納される。

初詣

元旦午前零時には今年の最初の祭典・歳旦祭が厳かに斎行され、新しい年を言祝ぎ、皇室の弥栄と国家の平安を祈念する。併せて崇敬者より奉納された献燈の奉告祭、特別祈禱の祈願祭が執り行われる。
なお大晦日午後十時頃には随神門下にて当社社氏子青年会により、恒例の「大晦日本

元旦の朝が明けそめると、晴やかに着飾った大勢の人々が初詣に訪れる。
神社拝殿では新年の御祈禱が間断無く執り行われ、境内の各授与所では新しい御神札や縁起物の神矢、熊手守を受け取る人々で賑わいを見せる。



この初詣の参拝は三ヶ日から正月半ばまで続くが、六日からは仕事始めの会社・事業所遠来の初詣団体が連日にわたり参拝する。
本年も大勢の方々が、おやおひこさまの新たな御神徳を戴こうと神前に額づく。

謹賀新年

宮司	渡部 吉信	彌彦神社初穂講	彌彦神社 敬神婦人会
権宮司	米山 信	講長	渡部 吉信
禰宜	相馬 正幸	副講長	米山 信
全	増子 喜之	審議員	多田 総栄
権禰宜	高山 勝利	全	黒坂 正春
全	岩方 祝康	全	佐々木英夫
全	高橋 孝至	全	和泉田正則
全	宮澤 正昭	監事	半間 良輝
全	倉橋 大徳	全	村山隆太郎
全	高橋 良直	彌彦神社敬神婦人会	渡部由里子
全	和田 憲治	会長	和平日出子
全	佐藤 智也	副会長	小林 君子
全	村山 拓郎	全	米山千也子
全	伊藤 隆矢	幹事長	鈴木 テル
出仕	渡 伊吹	新潟県菊花連盟	
全	長 眞砂勝	会長	渡部 吉信
全	太田 敏文	副会長	米山 信
技師	荒木 貢	全	山崎 正巳
技手	熊谷 義人	全	武田 三郎
全	外職員一同	全	田代 庚平
責任役員	伴 昭彦	参与	逢坂 茂
全	大谷 統司	彌彦神社日本鶏の会	会長
全	敦井 榮一	会長	渡部 吉信
崇敬者総代	神田 陸雄	副会長	山際 憲治
全	関 昭一	全	清水 吉郎
全	大原 興人	彌彦神社氏子青年会	会長
全	藤井 大介	副会長	早福 百合
全	星野孝一郎	副会長	外山雅咲人
全	加藤 治	全	黒津 一彦
全	小林 豊彦	ボーイスカウト西蒲原第七団	育成会長
彌彦神社氏子会	捧 雄一郎	団委員長	渡部 吉信
全	神田 陸雄	彌彦神社大々神楽講	米山 信
副総代	柳田 豊	彌彦神社交通安全講	
全	河村 八郎	彌彦神社崇敬会	

謹賀新年

彌彦神社前通り
お食事処
松の屋
電話 〇二五六九四二二〇番

わっぱ飯膳
松花堂弁当

お食事 **吉田屋**

弥彦外苑坂通り
電話 〇二五六九四二二〇番

政府登録旅館 (三三七二号)
日観連会員

お宿いろいろ
新潟県西蒲原郡弥彦温泉
電話 〇二五六九四二二〇番

弥彦温泉

旅館 **清水屋**

彌彦神社前
電話 〇二五六九四二二〇番

心和む



いにしえ郷の美味な宿
彌彦温泉 **桜家**
彌彦 駅前
電話 〇二五六九四二二〇番

総合建設業

一級建築士事務所
設計・施工

株 河村組

弥彦大杉通り
電話 〇二五六九四二二〇番

年頭の特種神事

夜宴神事

一月一日〜三日



夜宴神事は新年を祝う古伝の特種神事で、元日から三日間にわたり、毎夕六時から拝殿において執り行われる。

この神事は「鳥取り」とも称され、神前に木彫りの鶴亀や小鳥を配した鳥台十台をお供えし、小神楽を奏する。第二夜には一月七日弓始め神事の配役が、第三夜には「萬歳楽」が行われる。木鳥は神事終了後、当夜参集した参拝者に抽籤で授与される。

弓始神事

一月七日

正月七日午前九時より伝統の弓始神事が斎行される。

行われる。

神前に七種粥をはじめ山鳥鯉、勝栗、干柿などの特別な神饌をお供えして、本年の国家安穩、災難消除などを祈願する。四方天地人を弦音により祓い清める。鳴弦の儀の後、拜殿脇の特設射場において、神職十人によって、百射の儀が古式に則り厳かに執り行われる。



粥占炭置神事

一月十六日

年頭に当り、一年十二ヶ月の天候と農作物、海川山野の産物の豊凶を占う神事で、正月十五日夜から十六日朝にかけて厳重に斎行される。

物忌み潔斎した神職により炊き上げられたお粥は十五日夕刻、神前にお供えされる。

翌十六日未明、飯殿において宮司以下神職により、粥占と炭置の神占いが行われる。

この神事は一般には公開されないが、その結果は殿内に掲示され、当社社初穂講員約一万一千人をはじめ農業関係団体等に配布される。

例祭斎行

二月二日

神幸神事

二月一日〜四日

社伝によると御祭神の天香山命は第六代孝安天皇元年二月二日に現世の偉業を成し遂げられ、神退られたと伝えられている。この日、拜殿に奉安された二基の御神輿に大神様と妃神様を御遷し、特殊神饌「大御膳」を奉献し、当神社最重儀の例祭を斎行する。

また、二月一日より同四日まで四日間にわたり、神幸神事が執り行われる。神幸の楽（みゆきのがく）、童女による小神楽を奉奏して御神慮をお慰め申し上げる。

雪深く厳寒の時期ながら、この四日間の神事には多数の崇敬者が参列する。

建国記念祭

二月十二日

二月十一日の「建国記念の日」、午前十時より建国記念祭が斎行される。

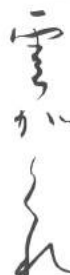
建国の昔を偲ぶと共に国家の隆昌を祈願し、併せて神武天皇の日本建国に際して大功をたてられた御祭神の御神徳

を景仰する。祭典中、参列者全員により紀元節の歌が高らかに唱和される。

また祭典終了後には、弥彦村建国記念祝賀会主催にて日の丸行進、記念講演会などの奉祝行事が行われる。

謹賀新年

越乃銘菓「くもがくれ」



越後杵つき



県産こがねもち使用

御菓子処 米納津屋

燕市吉田上町 電話(93)二一四四
神社駐車場前 電話(94)四八二二
弥彦神社通 電話(94)一八二三

日本海・佐渡と
越後平野が一望できる
弥彦山頂へ



弥彦山ロープウェイ

新潟県西蒲原郡弥彦村大字弥彦2898番地
TEL (0256) 94-4141
〒959-0323 FAX (0256) 94-4725



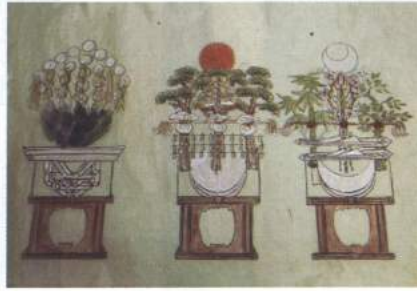
お役に立ちます
—夢づくり—

けんしん

新潟県信用組合
TEL 94-2222代

「三光之飾」復興

当神社では令和二年の正月より、明治時代初期に廃絶した正月飾り「三光之飾」(さんこうのかざり)を復興させ、公開する。



「日・月・星」を祀った「三光之飾」は、江戸時代までは大晦日から正月八日まで御神前に飾られていた。日・月・星を祀ることは、中世・近世を通じて大きな勢力を誇った吉田神道でも重要視され、当神社もその影響下にあった。
その後「三光之飾」は明治二年より明治九年の間に廃絶したが、当神社ではこれを復興させるべく検討を重ね、弥彦村の協力のもと準備を進めていた。
「三光之飾」は十二月三十日に幣殿に奉献され、大晦日夕刻より八日早朝まで祈禱殿に献備される。

拜殿内大提灯の奉納

拜殿内に献灯されている奉納大提灯が更新された。改めて申し出を受け、去る十二月中旬に新調され、掲げられた。この大提灯は毎年新調されている。

今回、改めて献灯された奉納者の芳名は次の通り。

(敬称略)

新潟市

- 北陸ガス株式会社
- 敦井産業株式会社
- 蒲原ガス株式会社
- 株式会社本間組

- 代表取締役社長 本間 達郎
- 新潟運輸株式会社
- 取締役会長 佐藤 朋弥
- 取締役社長 坂井 操

- (株)NST新潟総合テレビ

御即位奉祝記念事業

奉祝行事 開催

去る九月二十一日より二十三日まで、ヤホール(弥彦村弥彦)において御即位と大嘗祭を奉祝する物産展「令和の宴」が開催された。

新潟県農業協同組合による地元野菜の直売や、近隣の酒造会社による日本酒の試飲販売、また大嘗祭の説明文の展示・資料映像の放映などを行った。連休中ということもある。



▶ ヤホールでの物産展

り、多くの観光客で賑わった。また、新潟県酒造組合(大平後治会長)所属の酒造会社五十余社より酒樽の奉納があった。この酒樽は平成二十七年、当神社の御遷座百年を奉祝して奉納されたもので、経年により一部が傷んでいたが、此度新調された。

酒樽は拜殿向かって右側に展示されている。



▶ 新たに奉納された酒樽

- 代表取締役 大橋 武紀
- 株式会社新潟テレビ21
- 代表取締役社長 栗原 美樹
- 株式会社新潟三越伊勢丹
- 代表取締役社長 星野圭二郎
- 株式会社新潟放送

- 株式会社テレビ新潟放送網
- 代表取締役社長 務台 昭彦
- 株式会社エフエムラジオ新潟
- 代表取締役社長 中野 幹
- 株式会社田中石油
- 取締役会長 田中 一郎

謹賀新年

新潟の冬に鍛えられた
除雪機



フジコーポレーション(株)

燕市小池285番地
TEL 0256-64-5511

新潟県/弥彦温泉
政府登録国際観光旅館(登録1984号)

四季の宿



〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦
☎ 0256-94-2010(代)
FAX 0256-94-4463

- 株式会社コメリ
- 代表取締役社長 捧 雄一郎
- JR新潟鉄道サービス株式会社
- 代表取締役社長 佐藤 賢也
- 新潟県信用組合
- 理事長 長谷川 了
- 株式会社末広製菓
- 代表取締役社長 木村 鴻一
- 大成建築株式会社北信越支店
- ヤマト運輸株式会社
- 新潟主管支店

御即位奉祝祭 齋行



天皇陛下には、昨年十月十二日に天皇の御位に即かれたことを皇祖・天照大神に奉告せられ、ついで高御座にのぼられて広く国民、また諸外国の人々に即位を宣言される「即位礼正殿の儀」が執り行なわれた。

この日に併せ、当神社では午前十一時に「天皇陛下御即位奉祝祭」を渡部宮司以下の奉仕により中祭式をもって斎行し、氏子崇敬者約六十名参列のもと「悠久の舞」が奏で

労働組合新潟支部
株式会社やひこドリーム
代表取締役社長 星野孝一郎

株式会社大谷製作所

代表取締役 大谷 徹

フジイコーポレーション株式会社
代表取締役 藤井 大介

三桑市

株式会社高義製作所

代表取締役社長 徳永 佳久

られ、皇室と日本国の益々の繁栄が祈念された。

この日は今年に限り祝日となり、朝から朱印を求め多くの参拝者で賑わった。

御即位奉祝記念事業

参拝者休憩所竣工



▶ 清祓



▶ 完成した休憩所

御即位奉祝記念事業としてすすめられていた、随神門下南側に位置する老朽化した第二社務所を解体し、同地に参拝者休憩所を新築する工事が十月二十二日に竣工した。

参拝者休憩所は木造平屋建て、面積は約二八〇平方メートル。参拝者が休憩するためのテーブルや椅子、御手洗などが設置されている。

十一月一日より使用可能となり、多くの参拝者を受け入れている。開館時間は午前九時より午後四時まで。

弥彦村

弥彦村ローブウエイ

代表取締役社長 弥彦さくららの湯

取締役社長 加藤 治

東京部

国際石油開発帝石株式会社

代表取締役社長 上田 隆之

JXTGエネルギー株式会社

代表取締役社長 大田 勝幸

石油資源開発株式会社

代表取締役社長 藤田 昌宏

池坊新潟支部

「立花」奉献

華道池坊新潟支部（小野蒼峰支部長）より、色鮮やかな「立花」が二基、拜殿と参拝者休憩所に献ぜられた。立花は生花の最も伝統ある様式で、天皇陛下の御即位を奉祝するに相応しいものとなった。



日本海洋石油資源開発株式会社

代表取締役社長 藤田 昌宏

株式会社聚楽

取締役社長 加藤 治

株式会社彌彦工務店

代表取締役社長 児玉 達朗

長野市

カイシン工業株式会社

代表取締役 堀 豊

御即位奉祝記念事業

記念朱印帳作成

新元号「令和」の典故が万葉集であることに因み、当神社では万葉集で弥彦の地が詠まれた歌二首を一首ずつ配した、御即位奉祝記念朱印帳二種類を数量限定で作成、十月二十二日より頒布した。（現在は頒布を終了致しました）



第五十九回 奉納 菊花展

第五十九回奉納新潟県菊花大覧覧会が昨年十一月一日から二十四日まで開催された。期間中、約十九万人の参拝観菊者が訪れた。

彬子女王殿下には、格別の思し召しを以て、昨年に引き続き十回目となる寛仁親王賞が御下賜となった。

大風景花壇は「即位御大礼」と題し、十月二十二日の「即位礼正殿の儀」を、約三万本の色とりどりの菊花の挿芽と菊五百鉢で精密に造園され、好評を博した。

十一月二十日には恒例の献花祭が執行され、受賞式が執り行われた。主な受賞者は左記のとおり
(敬称略)



寛仁親王賞

▽寛仁親王賞

大菊の部・七幹立厚物

山添 謙蔵 (長岡市)

▽農林水産大臣賞

中菊の部・弥彦作

大竹 与市 (新潟市)

▽厚生労働大臣賞

小菊の部・三鉢一組

長谷川三作 (新潟市)

このほか、神社本庁統理賞、神宮大宮司賞・新潟県知事賞など、特別賞四十一賞百二十二点が授与された。



大嘗祭当日祭齋行

去る十一月十四日の夕刻から十五日の未明にかけて、天皇陛下には天照大神をはじめとする神々に新穀を捧げられ、その年の豊作の感謝と、我が国の繁栄と国民の安寧を御祈りされる重儀「大嘗祭」をこ

齋行遊ばされた。当神社では十一月十二日に臨時大祓式を齋行、同十四日に大祭式にて「大嘗祭当日祭」を齋行し、大御代の弥栄をご祈念申し上げた。

御祈禱奉納者芳名

(令和元年九月一日より令和元年十一月三十日まで) 敬称略

特別大祈禱奉納

新潟市中央区 (株)キタツク
西区 ヤマト運輸(株)新潟主管支店
内田里枝
東京都 (株)彌彦工務店

特別祈禱奉納

新潟市北区
伏見稲荷大社新潟県豊栄支部
中央区 (株)ユアテック
大成建設(株)北信越支店営業部
日本鏡餅組合
西蒲区 越王柿振興協議会
長岡市 (株)宮下電設
新発田市 北興化学工業(株)新潟工場
上越市
(株)エム・アイ・ディジャパン本社
十日町市 丸山伸人
胎内市 弥彦岡集落
東京都 JXTGエネルギー(株)

別大祈禱奉納

新潟市中央区
日本通運(株)新潟支店
秋葉区 (株)ファルマフエニックス
坂井富士雄
燕市 中川ステンレス(株)
三条市 (株)高義製作所
燕三条工場の祭典実行委員会
長岡市 シュールンベルジェ(株)長岡支店
池田英樹
見附市 親松昇
柏崎市 栗田明廣
上越市 名南三九会
東蒲原郡 麒麟山酒造(株)
東京都 (株)ブルータス 木村小児

謹賀新年



(株)永井自動車
電話 (94) 四一〇一

弥彦温泉



ホテルヴアイス
弥彦神社前通り
電話 ☎ 025(94) 五六二二番

初宮詣と婚礼記念
彌彦神社認可

やなぎだ写真館
電話 (94) 四一五五番



東北電力(株)指定工事店
彌彦神社御用

株式会社 高倉電気商会
弥彦 駅前

電話 (94) 二二八〇番

二階 カカフェ
一階 和雑貨・和小物・おみやげ
社務所/おこしお
彌彦神社前
電話 (94) 二二六二

弥彦商店
新潟県弥彦村彌彦神社前
TEL (0256) 94-5841
FAX (0256) 94-5065
http://yayoi.sake-ten.jp

科クリニツク (南東栄塗装)
 福島県 柳兼千
 石川県 石川県立美術館友の会
 長野県 松代建設工業(株)
 滋賀県 先哲の旅 Y M青葉会

大祈禱奉納

新潟市北区 杉崎建二
 東区
 ろうきん山の下支店秋葉会
 中央区 オフィスHanako
 (株) 新潟県畜産課 新潟総踊り祭
 実行委員会 小野誠一
 西区 笠木屋(株) (株)アジカタ

南区 大野真奈美
 西蒲区 柳末広製菓
 新潟市 悠峰山の会
 燕市 フジイコーポレーション(株)
 笑美の会 近藤安男 白倉凛香
 田中謙次
 長岡市 (株)マイステルジヤパン
 新潟高周波工業(株) 日本通運(株)中
 越支店 蒲原モラロジ事務所
 高橋孝平 吉塚崇
 柏崎市 柏崎商工会議所女性部
 十日町市 青木一馬 田村良一
 西蒲原郡 弥彦村遺族会
 三島郡 村上聖和
 東京都 医療法人社団みすまの

厄祓いのご案内

古くから厄年は、
 永い人生における一
 つの転換期として心
 身共に慎むべき大事
 な節目の年とされて
 います。

厄年に当たる年
 は、神社に参拝し
 お祓いを受け、厄難
 消除、開運招福を祈
 念するのが慣わしと
 なっております。
 彌彦神社では、随
 時厄祓いの御祈禱を
 執り行っております。
 同年の方々お誘い合
 わせの上、ご参拝さ
 れますようご案内申
 上げます。
 本年は下記の生ま
 れ年の方々厄年に
 当たっております。

令和2年厄年表 (数え年)				
	男性		女性	
前厄	24歳	平成9年生	18歳	平成15年生
本厄	25歳	平成8年生	19歳	平成14年生
後厄	26歳	平成7年生	20歳	平成13年生
前厄	41歳	昭和55年生	32歳	平成元年生
本厄	42歳	昭和54年生	33歳	昭和63年生
後厄	43歳	昭和53年生	34歳	昭和62年生
前厄			36歳	昭和60年生
本厄			37歳	昭和59年生
後厄			38歳	昭和58年生
前厄		60歳	昭和36年生	
本厄		還暦 61歳	昭和35年生	
後厄		62歳	昭和34年生	

さと会 関電工安全衛生協力会工
 務支部 青井博幸 藤原雅一
 北海道 伊藤隆太郎
 山形県 小岩貴恵
 埼玉県 瑞穂の会・蓮花

富山県 下立地区社会福祉協議会
 長野県 飯水岳北交通安全協会
 岐阜県
 ひるがの高原大根生産出荷組合
 静岡県 六車慎一郎

月次祭継続参拝者

二月二日の例大祭にちなん
 で、毎月二日に月次祭を斎行
 している。毎月各地から多数
 の崇敬者が参拝され、次の
 方々が一月二日の月次祭で繼
 続参拝の表彰を受けられる。

二十一年間継続参拝
 恩田 利平太 (長岡市)

二十二年間継続参拝
 (敬称略)
 二十四名(氏名略)

狩谷 一江 (弥彦村)
 十年間継続参拝
 鈴木 テル (弥彦村)
 五年間継続参拝
 山際 恵美子 (弥彦村)
 山田 静江 (弥彦村)
 十二ヶ月連続参拝
 二十四名(氏名略)

大々神楽講参拝

燕市 今井 恒志郎
 十日町市 十日町敬神講

魚沼市 大白川講

(九月・十月・十一月中)

社頭往来

九月中

二日 山形県金峯神社官司
 佐々木孝善氏外役員総
 代一行参拝

十日 三重県皇學館大学文学
 部国史学科生一行参拝
 北海道伊夜日子神社氏
 子青年会一行参拝

十四日 神奈川県一般社団法人
 日本燦々天麻那舞一行
 参拝

二十日 彌彦神社御即位・大嘗
 祭奉祝委員会一行参拝

二十一日 静岡県八王子神社氏子
 総代会一行参拝

十月

七日 岩手県天照御祖神社官
 司長谷川瑞彦氏外一行

九日 神奈川県子之社氏子総
 代会一行参拝

十七日 新日本宗教団体連合会
 北関東総支部一行参拝

二十日 東京都江戸消防記念会
 第九区一行参拝

山形県大河原稲荷神社
 宮司大河原友壹氏外総
 代会一行参拝

謹賀新年

雪のように清く
 湧水のように尊い
 本物の国酒を愛する人へ

泉流
 こしのはくせつ

醸造元
 弥彦酒造株式会社
 西蒲原郡弥彦村上栄1830-1
 TEL 0256-94-3100



御菓子司
 三笠屋

電話(0256)94-2157

元祖温泉饅頭

弥彦みやげに
 祥立堂

電話(0256)94-2158



特別寄稿

燈籠押しに魅せられて 一序一

全国氏子青年協議会副会長
元彌彦神社氏子青年会会長
羽生久美子

新潟県の中央部、越後平野を見下ろすように聳える弥彦山の麓に、越後一宮彌彦神社はあります。御祭神「天香山命」は米作りや塩作り、麴を使った酒造りなどをこの地にもたらしました。人々は越後文化発祥の祖と崇め、「おやひこ様」と親しみをこめてお呼びします。

「おやひこ様」に随行して来た供人を中心に村が形成され、発展してきた土地です。で、神社の存在はとも大きく、また身近です。弥彦に住まう者にとつての一年間は、神社の祭礼とともにあると言つても過言ではありません。私も保育園の年中組から小学校卒業までの八年間、小神楽の舞童として、三日ごとに神社へ通つておりました。「おやひこ様」が神去られた二月二日に斎行される例祭では、特殊神饌の「大御膳」が献じられ、小神楽が奏上される慣わしです。重要なお祭りなので小神楽も特別な支度で、類には紅を付けます。

たものです。さて、彌彦神社で最も賑わいを見せるお祭りといえは、七月二十五日に執りおこなわれる燈籠神事です。このお祭りは千年の歴史があると言はれており、国の重要無形民俗文化財の指定も受けております。

たいそう勇壮な夜祭り、大人十五人程で担ぐ格子作りの燈籠の上に、それぞれの講中が趣向を凝らした造花を飾つた「花燈籠」十数基が、二基の「おみこし様」を中心に行列を組み、およそ二時間かけて村内を一巡します。これは「おやひこ様」が稲作の出来や、民の暮らしぶりを巡視なさるのが目的と伝えられております。人々は「おみこし様」に手を合わせ、この年の五穀豊穡と村の平穏を願います。

二基の「おみこし様」はとも重く、曲がり角に来ると道の端まで軌道が大きく膨らむため、子供の頃には恐ろさを感じられたものです。「おみこし様」の前後には花燈籠が随行し、村にはそれぞれの講中に伝わる木造りが響きまします。蠟燭の明かりに照らされ

十一月中

- 四日 新潟県茶商協同組合一行参拝
- 十九日 神奈川県琴平町議会一行参拝
- 二十日 宮城県志波彦神社鹽竈神社神職養成所一森会新潟県支部一行参拝
- 二十二日 三条市衆楽館参拝

令和元年 大々神楽講に世話人表彰

大々神楽講の参拝は、三月十五日の大々神楽始祭から春大々、秋大々と続くが、昨年左記の世話人の方々が表彰された。

た花燈籠が連なる様はとても幻想的です。巡行中、花燈籠は技や力を競つて押し合いや揉み合いを繰り返します。押し合う双方の燈籠の準備が整うと、木遣りが「わっしょい、わっしょい」のかけ声へと変わり、花燈籠の花もその声に合わせて小刻みに揺れます。

双方の担ぎ手の気持ちが最高潮に達すると、二基の燈籠を隔てていた太鼓車が拍子木の合図で勢いよく退き、それと同時に燈籠は勢いよく前へ進み押し合います。古来「彌彦の燈籠押し」とも言われ、親しまれてきました。次回からは、この「燈籠押し」に魅せられた女の子の話をもとに「神社新報」に平成二十八年七月〜平成三十年四月まで連載されたものの転載です)

- 二十六日 南魚沼市浦佐毘沙門堂参拝
- 福島県伊佐須美神社総代齋藤正直氏外会津美里町観光協会一行参拝
- 二十七日 長野県戸隠神社宮司水野邦樹氏外婦人会一行参拝

- 二十年表彰 大野町講 東條 栄喜
- 燕市 小池講 田中 誠一

- 十年表彰 新潟市 大野町講 田村 弘栄
- 新飯田講 知野 成一

外 祭

- 九月中 西蒲原部分水堂菓子舗 竣功祭
- 三十日 西蒲原部分水堂菓子舗
- 十月中 JXTGエネルギー (株)、石油資源開発(株)、国際石油開発帝石(株) 同慰霊祭
- 二十四日 西蒲原郡イワツキ(株)家
- 二十五日

謹賀新年

新潟県彌彦温泉 美味満開

名代家 電話(94)211-113

彌彦の奥湯 観音寺 山里の花木に囲まれ香鼓

上州苑 HOTEL 電話(94)211-114

宝山 宝山酒造株式会社

笹屋菓子舗 本店 彌彦神社前通り TEL九四二〇六七 FAX九四一五三八 支店 彌彦駅前通り TEL九四一四一九〇

神にちかう 心ではたせ 交通安全 彌彦神社交通安全講

新潟県菊花連盟 事務所 彌彦神社内

県下三十四支部



B・S西蒲原第七団 発団六十周年記念式典開催

当神社所属のボーイスカウト西蒲原第七団（育成会長渡部吉信宮司）は、昭和三十四年十月二十八日の発団以来六十周年を迎え、昨年十二月十四日に社務所大広間において、発団六十周年記念式典を執り行った。

当日はボーイスカウト新潟連盟南雲理事長をはじめ、来賓・県内役員・中越地区友団スカウト併せて約一六〇名が参列した。

式典では感謝状が育成会参事と前指導者、保護者に贈呈され、次いで優秀なスカウト三名が表彰を受けた。

その後、友団スカウトから

祝意の「いやさか」が贈られ、当団スカウトたちも返礼の「いやさか」を大きな声で唱え、盛会裡に終了した。



新嘗祭に併せて 初穂講 秋季大祭を斎行

十一月二十三日と二十四日の両日にわたり、当神社初穂講秋季大祭が斎行された。初穂講世話人、同講員、農業関係者多数が参列し広い拝殿が埋まった。

新潟県の令和元年の作況指数は、猛暑による高温・多照、また八月下旬の多雨が影響したが、百の「平年並み」となった。

当神社には、例年通り県下一万一千余人の初穂講員から真心のこもった初穂米が献納された。これらの献上米は、新潟県農産物検査協会の審査員十三名（審査長同協会専務理事和泉田正則氏）により厳正に審査され、特等以下各等賞が決定された。入賞米は初



穂講百年記念みずほ館にて一般に展観された。

本年の正講員特等賞の受賞者は左記のとおり。特別表彰である十年連続一等以上受賞は本年該当者なしであった。（敬称略）

▽五年連続一等賞以上受賞

長岡市長倉 土田 市雄

▽正講員特等賞

新潟市西蒲区

高畑 榎田士農夫

橋本 鈴木 哲

長岡市長倉 土田 市雄

檜原 大崎 辰也

上岩井 佐藤佐一郎

麻生田町 佐藤 澄子

葎谷 小島 洋一

多田 正春

十一月十日

住宅改装清祓

西蒲原郡新潟地方気象

台弥彦レーダー観測所

立替工事ボーリング工

事安全祈願現地清祓

地清祓

西蒲原郡弥彦観光索道

備改修工事安全祈願現

地清祓

（株）稲荷社祭

永吉秀司氏

日本画 奉納

昨年十二月二日、日本画家で新潟大学教育学部准教授の永吉秀司氏より、日本画「ソラヘノワダチ」が奉納された。「ソラヘノワダチ」は、永吉氏がパプアニューギニアのラバウルに赴いた際に目に留まった、戦時中の飛行機の残骸から着想を得て描かれた作品である。



十八日 燕市富士通フロンテック 新潟工場一部取壊し安全清祓

原 益夫氏

鑄金作品 奉納

昨年十二月九日、鑄金作家の原益夫氏より作品「朱鷺」が奉納された。「聖徳太子像」が奉納された。原氏は昭和九年に柏崎市で生まれ、家業を継ぎ鑄金作品を製作、多くの展覧会に出品するなど活躍を続けている。昨年から創作活動六十周年の節目に当たることから、今回の奉納に至った。



令和二年一月一日 発行

千九百九一〇三九九三

新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦

彌彦神社社務所

電話 〇二五五 九四一〇〇二

FAX 〇二五五 九四一四五二

印刷所 北洋印刷株式会社

古神札等お焚き上げ
ご協力をお願い

お焚き上げする古神符・お守り等の受け取りは、神社・神棚関係のもので可燃性の古神符類（神札・お守り・神矢守・くまで守・安全守・絵馬など）のみとします。

御神酒瓶、陶器具類、人形、ぬいぐるみ、財布等はお断り致します。

ご協力のほど、お願い申し上げます。